



# シルバー 府中



第 3 5 号

平成 2 8 年 8 月

\* 発 行 \*

公益社団法人 府中市シルバー人材センター

目崎事務所 広島県府中市目崎町 352

〒 726-0033 TEL 0847-47-6120

FAX 0847-47-6121

上下事務所 広島県府中市上下町上下 861-3

〒 729-3431 TEL 0847-62-8280

URL <http://fuchushi-sjc.com>



## 会 員 数

( 8 月 1 日 現 在 )

男 性	1 7 6 人
女 性	1 1 1 人
計	2 8 7 人

会員による 1 人 1 会員入会 運動  
会員による 1 人 1 仕事開拓 運動

**会員拡大・就業機会拡大**

編集後記	職員異動	◎ 配分金の支払日	◎ お知らせ	◎ 会員募集	◎ 剪定技能講習	◎ 新入会員紹介	◎ 安全就業	◎ 平成二十八年年度定時総会
					(「熱中症」に「用心」)	(標語入選作品)	健康講演会	平成二十八年年度基本方針
								平成二十七年事業実績

## 目 次

# 平成28年度 第24回定時総会開催される

平成28年度定時総会が、去る5月27日（金）午前10時から府中市文化センターにおいて、岡崎広島県議会議員をはじめ、戸成府中市長、丸山府中市議会議員、迫田府中公共職業安定所所長のご来賓をお迎えし、出席会員210名（内委任129名）のもと盛大に開催されました。



▼ 岡崎県議会議員

総会は、物故者への黙とうから始まり、梶田理事長の挨拶で開会し来賓の方々からご祝辞をいただきました。



▼ 丸山市議会議員



▼ 戸成府中市長



▼ 迫田職業安定所所長

続いて山岡光久さんを議長に、有地健治さんと田邊富子さんを議事録署名人に指名し議事に入りました。



第1号報告「平成27年度支出予算の流用について」報告、その後、第2号報告「平

成27年度事業報告について」の報告、続いて第3号報告「平成28年度事業計画について」と第4号報告「平成28年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて」を一括報告しました。

報告事項についての質問等はなく、次の「決議事項」に入り、

第1号議案「平成27年度収支決算について」を提案説明、石谷監事が監査報告を行いました。

続いて第2号議案「定款の変更について」は、高年齢者雇用安定法の改正により、従前の「一般労働者派遣事業」が「労働者派遣事業」に改められたため、定款を変更する

旨の提案説明、また、正会員の入会決定を迅速に行い就業機会の早期提供を図るため、権限を理事長に一任し、理事会へは報告事項とする定款変更の提案説明を行いました。

続いて第3号議案「役員の選任について」は、伊藤理事、平田理事、瀬尾監事の退任に伴い、後任役員として有地節子理事、柳川順三理事、前原裕吉監事の選任同意を求め、続いて第4号議案「理事長に対する権限委任について」を提案説明、いずれの議案についても原案どおり承認されました。

最後に、前原副理事長の挨拶で総会を閉会しました。

## 健康講演会

定時総会の前段において、午前九時十五分から、府中市役所 長寿支援課の石口保健師より『認知症について』を演題に研修講演会を開催し、会員の皆さんは熱心に聞き入っておられました。「予防と対策」を今後にかかしていきましょう。



## 平成28年度基本方針

我が国の経済は、中国経済の先行き不安や原油安の影響による世界市場の不安定なっています。

化・減速に伴い、マイナス成長に陥り、景気後退のリスクが高まっており、依然として停滞感の強い状態で推移すると考えられています。年度後半以降は、停滞感は次第に払拭されていくとされていますが、懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、多くの国民、とりわけ国民の25%を占める高齢者にとっては、物価上昇や社会保障料の引き上げ等による生活への不安感が大きくなっています。シルバー人材センターへの入会目的も、「生きがい・社会参加」や「健康増進」が依然として多いものの、「経済的理由」も増加し、センターは高齢社会にとって欠かすことのできない組織となっています。

平成26年度に、いわゆる「団塊の世代」といわれる世代がすべて65歳に達し労働市場からの引退過程にあり、加えて、少子化、核家族化の

進む中、地域社会の「支え手」としてのシルバー事業は益々重要となっています。

シルバー事業が活性化することによってより多くの高齢者が活躍の場を与えられることにもなり、シルバー事業を通じ高齢者が社会参加することにより、健康な高齢者が増加し、医療費などの社会保障費の削減効果も期待できます。

「人生100年時代」を見据えて、こうした働く意欲のある高齢者が、培った能力や経験を活かし生涯現役で活躍し続けられる社会環境の整備が喫緊の課題となっています。

今後、当センターが高齢者

の受け皿としての機能を十分に果たし、地域社会の支え手となるためには、会員増を図ると共に就業機会の拡大・確保と職域の拡大を図る必要があります。

そのため、より一層の普及啓発活動の推進を図り、請負・委任による受託事業の受注拡大や労働者派遣事業の強化推進等の就業開拓を行い、元気で働きたいと願う高齢者の受け皿として地域社会の活性化に貢献できるような事業を推進してまいります。

### 一 普及啓発

当センターの事業運営は、平成26年度からの中期計画に基づき推進しております。

シルバー事業の充実・発展

を目指し、チラシ・パンフレット配布や会報等を通じて市全域で効率的かつ効果的な普及啓発活動を推進する。併せて、シルバーの日のボランティア活動の実施等、会員全員による普及啓発を行う。

### 二 安全・適正就業の推進

会員の健康維持と安全就業は、センター事業の最重要課題です。

会員の就業中や就業途上における事故防止に向け、安全委員会活動の充実により意識啓発を図るとともに、ワークショップの推進、労働者派遣事業の拡大により適正就業の推進に努める。

### 三 就業開拓・就業拡大

高齢者が自らの能力や希望に応じ、一人でも多くの会員の就業機会が確保できるよう、自治体・企業・事業所

・家庭からの就業ニーズの確な把握を行い、就業開拓や需給調整に努めると共に、派遣事業を推進し就業機会の拡充を図ります。

### 四 相談・情報提供

センター事業の持続的な成長のためには、事業の理念に賛同する働く意欲と豊富な知識や技能を持った会員の確保が不可欠であり、毎月第3木曜日の定期入会説明会を継続実施し、また、入会勸奨チラシの配布やホームページによる情報提供、日常的な相談業務の実施により会員

増強を図っていきます。

## 五 社会貢献活動の推進

シルバー人材センターは、公益法人としての社会的地位の向上を見据えた活動が要求されています。

地域社会にシルバー事業の普及啓発を図ると共に、地域貢献によって社会とのつながりを深め、相互に理解・協力関係を築くためにはボランティア活動の実施は大変重要です。

平成28年度も、「シルバーの日」の清掃作業など、地域に密着したボランティア活動を実施し、元気なシルバーパワーをPRします。

## 六 組織体制の充実・強化

センター組織の運営の基

本である会員の自主的・主体的運営の実現に向け、会員参

加の自主運営組織としての職群班や理事会、各種委員会活動の活性化と効率的な運営に努め、組織活動の充実・強化を図ります。

## 七 健全財政の推進

センターの財政状況は、受託契約金額の減少や補助金削減などにより、厳しい運営を強いられる状況となつてきています。

今後も受注額の減少が懸念されるところですが、事業の安定的な運営を図るべく、これまで以上の諸経費の見直し・節約を図り、自主財源の確保に努め、事業運営基盤の強化・安定化を図ります。

## 八 事務局機能の充実及び関係団体との連携

職員の資質向上や事務の効率化に努め、センターの適正運営と円滑な事業推進を図ります。

また、関係行政機関や他団体及び各拠点シルバー等との連携を密にし、事業の円滑な推進に努めます。

## 平成27年度事業実績

「受託件数は昨年度実績を38件上回り、契約金額は89万円下回りました。

当期経常増減額も69万円のマイナスとなりましたが、支出の見直し等により、当初見込み額を大幅に削減できました。

平成27年度収支 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
(1) 経常収益			(2) 経常費		
1 受託事業収益	144,200,000	142,353,247	1 事業費	161,683,000	155,914,143
2 派遣事業等収益	1,032,000	134,703	2 管理費	2,483,000	2,089,724
3 受取会費	680,000	628,000			
4 受取補助金等	14,200,000	14,170,000			
5 雑収益等	135,000	31,506			
経常収益計	160,247,000	157,317,456	経常費用計	164,166,000	158,003,867

平成27年度職群別、公共・民間別事業実績

(単位：件・円)

職群	公 共		民間事業所		一般家庭		合 計	
	受託件数	契 約 金 額	受託件数	契 約 金 額	受託件数	契 約 金 額	受託件数	契 約 金 額
技 術 群	12	540,000	59	11,563,571	3	19,260	74	12,122,831
技 能 群	15	2,057,145	89	4,316,775	817	17,954,415	921	24,328,335
事務整理群	1	15,247	26	434,758	21	38,041	48	488,046
管 理 群	130	15,688,868	24	2,040,036	0	0	154	17,728,904
折衝外交群	2	259,165	19	1,100,939	0	0	21	1,360,104
一般作業群	421	24,260,501	681	30,303,661	1,575	19,977,272	2,677	74,541,434
サービス群	1	87,000	67	8,438,729	344	3,257,864	412	11,783,593
合 計	582	42,907,926	965	58,198,469	2,760	41,246,852	4,307	142,353,247

事業内容（概要）

1 正会員の状況

平成27年度末の在籍会員数は300人（男性182人・女性118人）で、前年度末に比べ31人の減となりました。

2 就業状況

年間を通じての就業実人員数は300人中280人で、就業率は93.7%と、前年度を6ポイント上回りました。就業延人員は31,840人で前年度に比べ741人減少しました。

3 受注状況

受託件数は4,307件で、前年度を38件上回りました。これを職群別で見ると、除

草・清掃・草刈等の「一般作業群」が2,677件、剪定・襖・障子張替え等の「技能群」が921件、福祉家事援助等の「サービス群」が412件となっており、この3職群での合計は総受注件数の93.2%に達しています。

受託契約金額は、142,353千円となり、対前年比99.4%、金額にして約89万5千円の減となりました。発注者別では、公共事業が42,908千円（30.1%）、民間事業が99,445千円（69.9%）となっています。

4 普及啓発活動の実施状況

「人生100年時代へ突入」と言っても過言ではない

ほどの超高齢社会を迎え、社会の第一線を退いた方々がその後の人生を豊かに過ごすためには、高齢者の三種の神器と言われる「健康・収入・生きがい」が必要とされ、シルバー人材センターの役割が益々重要視されてきていますが、未だにその存在が市民に周知されていない状況があります。

そのため、市広報誌への掲載、ホームページの随時更新、会報の年二回の発行、路線バスへのマーケティング広告等による普及啓発を行いました。また、10月の「シルバーの日」には、早朝より府中公園、上下駅・北市民病院周辺等、公共施設の清掃ボランティア

イア活動を実施して、地域の

みなさまの理解を深める取組みを行いました。

## 5 安全・適正就業の確保

平成27年度の就業中の事故は、傷害事故2件（前年度2件）、物損事故も2件（前年度1件）発生しました。

引き続き、受託事業の安全性について検証すると共に、安全委員による就業現場への巡回、各種講習会を実施し、

会員一人ひとりが安全意識を常に自覚して緊張感を持って就業できる環境づくりを行い、事故撲滅に努めます。

また、安全就業標語の募集には63人から105作品の応募があり、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を選出しました

た。

適正就業の確保については、センターの安定運営上必要不可欠なものであり、就業の公平性を図るためワークシ

エアリングを推進し就業率の向上を図りました。

また、法令に則った事業推進のため、2事業所の送迎車

運転業務を派遣事業に移行しました。

## 6 就業分野の開拓・拡大

シルバー人材センターが高齢者の受け皿として十分な機能を果たし、地域社会の支え手となるためには、会員の

拡大と共に就業分野の開拓・拡大が必要不可欠です。

平成27年度の受託件数は前年度を38件上回りました

が、今後も派遣事業の推進等

により、就業分野の開拓・拡大に努めます。

## 7 研修会・講習会の取組み

会員の技能向上を図り就

業機会の拡大に資するため、国の委託事業「シニアワーク

プログラム地域事業」を広島県シルバー人材センター連

合会と連携しながら実施してきましたが、平成27年度は連合会の直轄事業となり、

計画されていた介護職員初任者研修は受講者不足で中止となりました。

平成28年度は、労働局委託の「高齢者活躍人材育成事業」として、剪定・刈払機取扱い・安全運転の3講習を予定しています。

## 私たち新入会員です。

よろしく願います

（平成28年4月1日～7月末日）

（入会順…敬称省略）

下山 はずみ  
小林 祐司  
森藤 君江  
石川 正行  
田原 実  
藤原 正己  
道下 隆行  
榎田 永次  
茂戸 幸治  
野村 アヤ子  
澤野 茂







血液量が減少し、脳や内臓への血流が減少したため。

#### ④熱射病（意識障害・反応

が鈍い・ショック状態）

＜原因＞体温が上昇したた

めに脳の温度も上昇し、脳の機能に異常をきたしている状態。

#### ●なぜ起きる

人の体温の許容範囲は35度から41度と幅が狭く、これを逸脱すると細胞が破壊されて死に至ります。

気温が上昇すれば汗をかいて体温を下げようとしませんが、この時汗で身体の中の多量の体液（水分・塩分等）を失うと脱水症になります。脱水症が進み、汗が出なく

なると体温が上昇し、許容範囲を超えれば死に至ります。

熱中症のペースは脱水症です。

気温がそれほど高くない日、30度を超えなくても、湿度が高い、風がない日は要注意！ また、屋外、屋内、昼・夜なく起こりうることを忘れないでください。

※ 気温30度の真夏日でも湿度35%と乾いていけば「注意レベル」ですが、湿度65%になれば「嚴重警戒」、湿度85%だと「危険レベル」に上がります。

#### ●予防対策

熱中症は当日の水分とミネラル不足から起きるものではなく、数日前からの不足が原因なので、日頃から水分と

ミネラルの補給を心がけましょう。

・日頃から、適切な食事・睡眠、体重維持などの自己管理をしっかりとしましょう。

・身体への蓄熱を避けるため、通気性の良い吸湿性・速乾性のある衣服を着用しましょう。

#### ●救急措置

万が一、上記①～③のような症状が出たら、直ちに仕事を中止して、

- ◎ 涼しい所で安静にする。
- ◎ 水分を補給する。
- ◎ 体温が高い場合は、首の周り、脇の下、足の付け根などを氷でマッサージするなどして、体温の低下を図る。

④の場合には直ぐに救急車を呼びましょう。

### 熱中症見舞金制度

センターでは、昨年から、全国シルバーセンター事業協会の熱中症見舞金制度に加入しています。

本制度は、正会員が就業中や就業場所への行き帰りに、熱中症により死亡又は入院した場合に見舞金を支払う制度です。

見舞金額は、次のとおりです。

死亡見舞金	十万円
入院見舞金	
（二泊三日以上）	五万円
入院見舞金	
（二泊二日以上）	三万円

※ただし、補償対象期間中に、同一正会員に支払われる見舞金の額は、十万円が限度です。

## 技能講習会の ご案内

今年度は、労働局委託の「高齢者活躍人材育成事業」として、安全運転講習を六月に、刈払機取扱講習を七月に実施しましたが、来年二月頃に「剪定講習」を実施予定です。

定員15人程度で、二日間の予定ですが、詳細が決まり次第、案内させていただきます。



## 会員募集

府中市シルバー人材センターでは、今後も、愛され信頼されるセンターの構築を目指し、会員（男女を問わず、原則60歳以上で健康な方）を募集しています。

**入会説明会は  
毎月第3木曜日です**

入会説明会は、毎月第3木曜日の午前10時から目崎事務所で開催しています。

電話での問い合わせ等も日常的に受け付けております。お気軽にご相談ください。



## 事務局からのお知らせ

### 《配分金の支払いについて》

就業月	支払日
平成28年8月就業分	平成28年9月15日(木)
9月就業分	10月17日(月)
10月就業分	11月15日(火)
11月就業分	12月15日(木)
12月就業分	平成29年1月20日(金)

### ◇互助会からのお知らせ

毎年、会報夏季号に掲載していただきました「互助会親睦旅行」のお知らせ（予告）は、現時点では計画未定のため、平成29年1月号にてお知らせさせていただきます。

### ◇編集後記◇

今夏も連日の猛暑で、「暑いですわね！」から「大分涼しくなりましたね！」と挨拶できる季節が待ち遠しい日々が続いていますが、会員の皆さまにはお変わりございませんか。

今年、平成八年十二月に府中市シルバー人材センターが設立されてから二十周年を迎える節目の年になります。これからも、地域から愛され信頼され続けるセンターを目指して、頑張りましょう。

◎編集部では、より充実した会報となるよう、皆様からの投稿や情報提供をお待ちいたします。

編集委員

石谷貴紀

岡田桂三

- ◆事務局職員の紹介
- 事務局職員に異動がありましたのでお知らせします。
- ▼就任 中山 隆  
(4月より上下事務所統括)
- ▼退職 田中 智文  
(3月末付)